

平成 18 年

12月

No. 518



広 報

いいたて

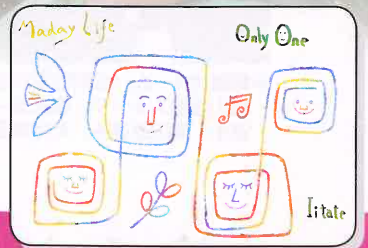
<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>



元気に大きく育ってね

村内3小学校の児童たちが、新田川と飯樋川にウグイの稚魚を放流しました。これは、新田川・太田川漁業協同組合（湊清一組合長）が、川に魚を増やす活動として毎年行なっているものです。この日は、各小学校の近くを流れる新田川と飯樋川へ児童たちがウグイの稚魚合わせて約 10,000 匹を放流しました。

11/17



大なる田舎 まていうイワ・いいたて



▲最長距離の10区を走る巻野選手 ▲後半の部スタートの8区を走る庄司選手 ▲初出場の大村選手(7区) ▲村の部区間賞の大内選手(6区) ▲昨年に続き3区を走った須田選手 ▲区間総合4位で村の部区間賞の藤井選手(2区)



▲総合区間賞に輝いたチーム主将の高田選手(5区) ▲区間総合2位で村の部区間賞の菅野選手(14区) ▲手作りの応援旗を持って応援する村議会議員の前を走る加藤選手(12区) ▲ゴールを目指すアンカーの森永選手(16区)

第18回ふくしま駅伝 飯舘村チームの記録

(敬称略)

区間(距離)	選手名 (◎は総合、○は村の部区間賞)	記録	通算順位 (村の部)	通算順位 (総合)
1区(4.0km)	武田 美由紀	13:23	2	11
2区(8.3km)	藤井 慶介 ○	25:50	1	5
3区(5.7km)	須田 幸正	20:04	2	14
4区(7.3km)	佐藤 彰洋	24:03	2	14
5区(6.4km)	高田 涼 ◎	19:28	1	10
6区(8.3km)	大内 龍太郎 ○	26:19	1	9
7区(5.4km)	大村 幸宏	19:47	1	11
8区(5.4km)	庄司 伸也	21:08	2	17
9区(3.0km)	巻野 美穂	12:26	2	20
10区(9.2km)	巻野 修一	29:11	2	18
11区(3.9km)	佐藤 彩華 ○	14:36	2	18
12区(7.0km)	加藤 輝彦	24:42	2	21
13区(4.8km)	長正 壮平	16:32	2	21
14区(5.7km)	菅野 将希 ○	18:25	2	17
15区(3.4km)	梶沢 涼香	13:04	2	18
16区(8.4km)	森永 伸一 ○	25:51	2	15



▲ゴールテープを切るアンカーの森永選手

飯舘村チームは、惜しくも村の部4連覇は達成できませんでしたが、各ランナーがしっかりとタスキをつなぎ、昨年よりも総合タイムを2分近く縮める好記録を残しました。さらに、市町村合併により市や町のチームが強化されるなかで、総合15位と健闘しました。

また、総合区間賞を含め6人が村の部で区間賞に輝くなど、改めて飯舘村チームの実力の高さを内外にアピールしました。

飯舘村チームの健闘光る

11/19 第18回ふくしま駅伝

前半1位

後半2位 総合 村の部2位 通算15位

6人が区間賞に輝く 総合1人、村の部5人

後半の部は、泉崎村チームが8区で村の部1位に躍り出ると、その後も徐々に飯舘村との差を広げていきました。

終盤、佐藤選手や菅野選手、森永選手が区間賞の走りを見せるなど、猛烈な追い上げを見せた飯舘村チームでしたが、1位の泉崎村とは1分21秒差の2位、通算15位でゴールしました。

前半の部は、全国高校駅伝大会へ出場する2区の藤井選手が通算5位まで順位を押し上げると、その後も高田選手が総合区間賞の快走を、そして大内選手も区間賞の走りで常に上位をキープ。前半を村の部1位、通算11位でゴール。見事に前半賞を獲得しました。

県内市町村のランナーが故郷のタスキをつなぐ「第18回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(通称・ふくしま駅伝)」。今年も白河市から福島市までの16区間、96.2kmのコースに、県内53市町村が参加して行われました。

飯舘村チームは、通算5時間24分49秒のタイムでゴールし、村の部で2位、通算でも15位と健闘しました。



▲飯舘村チーム(3列目左から長正壮平選手、藤井慶介選手、2列目左から佐野詩織スタッフ、佐藤彩華選手、巻野美穂選手、武田美由紀選手、横山亜耶スタッフ、森永伸一監督兼選手、梶沢涼香選手、小林加奈恵スタッフ、須田幸正選手、菅野茂則スタッフ、1列目左から大内龍太郎選手、高田涼選手、大村幸宏選手、佐藤彰洋選手、巻野修一選手、庄司伸也選手)

10区 巻野 修一 (国士館大学2年)

今年はケガや病気や故障など色々あって全く練習できなかったが、「何とかふくしま駅伝には間に合わせよう」と思っていた。今日の走りは全然納得がいらず、個人の成績もチームの成績も満足のいく結果ではなかった。この大会をステップに、箱根駅伝という学生最大の目標に向かって頑張っていきたい。



11区 佐藤 彩華 (飯館中学校3年)

初めての11区で、とても緊張して不安ばかりだったが、何とか走ることができたのは支えてくださった皆さんがいたからだと思う。今日は負けてしまったが、来年は絶対に村の部で優勝して、全体でも良い結果を残せるように頑張りたい。来年も区間賞を狙いたい。



12区 加藤 輝彦 (川俣精機株)

名前入りの立派な応援旗を掲げていただいたのに、その期待に背くような走りをしてしまい反省している。自分が目標設定で走っていれば優勝できていた。自分のところで総合順位を下げているし、ライバルにも負けている。自分が全部責任を負うような結果となってしまった。大会後、悔しさのあまり涙がこぼれてきた。そういう気持ちがある以上は、これからも頑張りたい。



13区 長正 壮平 (東和中学校教員)

ここ数年は白河市のチームで走っていて、白河から離れた今年は「もう走らなくていいかな」と思っていたが、ある日監督に「今年は走れよ」と言われ、急に練習を始めた。今日は何とか監督の設定タイムで走れたが、来年もふるさと選手として走れるのであれば、今度は早くから準備を始めて貢献したい。



14区 菅野 将希 (相農飯館分校2年)

順位が後ろの方だったので、走り始める時は「いっぱい抜ける」と思っていたが、走っている時は何も考えられなかった。「自分のせいで負けてしまったのかな」と思っている。今日は何が何だか分からない一日になってしまった。この村は本当に良いところで、村の一員としてもっともっと頑張りたいと思う。来年も走りしたい。



15区 椋沢 涼香 (飯館中学校3年)

ふくしま駅伝は2回目の出場だったが、とても緊張した。でも、たくさんの方が応援してくれて、何とかタスキをつなぐことができたので良かった。



控え 小林加奈恵 (飯館中学校1年)

今回は選手の付き添いとして、とても良い経験をさせていただいた。来年は選手としてふくしま駅伝を走りたい。



16区 監督 森永 伸一 (飯館村教育委員会)

1年間やってきて、「何で今日それが出せなかったのか」と悔やんでいる。勝負や人に負けたのではなく自分に負けてしまっている。もう少し指導力を、そして選手の潜在能力を引き出すことができれば、レース的には違う結果がでたと思う。この村は人が財産。走るということで、地域を良くするために引っ張っていったり、村に戻ってくる環境をつくりたい。これからも色々な分野で“までき”に丁寧にやっていきたいと思う。今日の結果は真摯に受け止めて、これからまたみんなで頑張りたい。



▲健闘祝賀会・解団式で乾杯する参加者ら

健闘祝賀会・解団式でのコメント

(紙面の都合で内容は一部要約してあります)

1区 武田美由紀 (相農飯館分校1年)

1区を走るのには去年に続いて2回目だったが、自分の役目を果たすことができなかったと思う。今日はとても悔しい。来年は絶対に(村の部で)優勝したい。



2区 藤井 慶介 (原町高校3年)

運が良いのか悪いのか、去年も今年もテレビに映った。去年は郡山市チームが近くにいたからだと思うが、今年は急に中継車が自分の前に出てきた(笑)。今年も(自分が所属する)原町高校が12月の全国駅伝大会に出場するので、また頑張りたい。



3区 須田 幸正 (相馬広域消防飯館分署)

去年は大会前に肉離れを起こしてしまい、「今年はそのリベンジを」と思ったが、体調が良すぎたり目の前に中継車や審判車がいたので、調子に乗って中学生の気持ちで走ってしまった。途中から体が動かなくなってしまい「まだまだ甘い」と反省している。チームの最年長者になってしまったが、中学生に負けない走りが出来れば、また来年も挑戦したい。



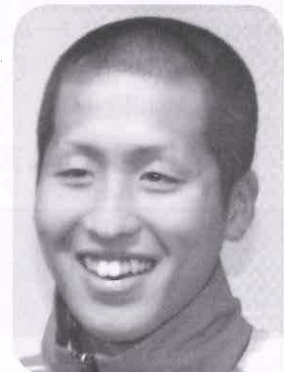
4区 佐藤 彰洋 (東洋大学4年)

監督が甘い設定タイムを与えてくれたのに、そのタイム通りに走ってしまった。大学生なのに情けない走りですりません。中学生や高校生たちが「駅伝は簡単なものじゃない」ということが分かったと思うので、今日はそれが何よりの収穫だったと思う。今日の悔しさを忘れず思い続けて、来年しっかり結果を出して欲しい。自分も頑張る。



5区・主将 高田 涼 (相農飯館分校3年)

去年と一昨年は一般の区間だったが、今年は高校生区間ということで、「とにかく前へ行かなきゃいけない」と出来る限りの走りをした。ただ、結果的にはチームで勝つことができなかったのも、すごく悔しい。その気持ちはみんな一緒なので、「来年は絶対に勝つ」という目標をたてて、また頑張っていきたい。



6区 大内龍太郎 (東北福祉大学1年)

5回目の出場だったが、今回が一番緊張したし不安がある大会だった。今までは森永監督の下で安心して練習できたが、大学では自分ひとりなので不安や心配があり、1週間位前からずっと緊張していた。「今回は調子が悪くてダメだな」と思っていたが、悪いなりに結構良い感じで走れた。今回負けて悔しかったので、来年も帰ってきてまた飯館村チームで走りたい。



7区 大村 幸宏 (飯館中学校3年)

今回初めての大会だったが、自分の走りができたと思う。村の部で優勝できなかったが、前半賞がとれて良かった。監督には「3人までなら抜かれてもいい」と言われていて、それを守って2人には抜かれてしまった(笑)。でも、頑張って走りきることができた。



8区 庄司 伸也 (飯館中学校2年)

今回は初参加ということで、本当はもっと練習をしてもっと良いタイムで走りたかった。いつもこの大会をテレビで見ている「簡単だ」と思っていたが、実際走ってみるととても難しかった。来年も機会があったら参加して、今年よりもっと良いタイムで走りたい。



9区 巻野 美穂 (飯館中学校1年)

今回は負けてしまったが、来年は(村の部で)優勝できるように頑張りたい。一生懸命練習して、来年も出場したい。

